

1. ミドリイツツバセイボウ 2. ハチジョウウアラスザアゲハ 3. ハチジョウチサヨコバヒ 4. ツクツクボウシ 5. シロチンハナムグリ 6. ヒメホシカメムシ 7. ムネスザアタマムシ 8. クロイへバ 9. フタタビミドリトラカミキリ 10. ハチジョウウカラスアゲハ

八丈島に於ける採集品目録

加 藤 正 世

A List of Collection from Hachijo Island.

By Masayo Kato

昭和15年7月24, 25兩日八丈島に於いて採集せる昆蟲, 蜘蛛, 其の他の目録を掲ぐ。もとより極めて短時間の成績に過ぎざれども此の時期に於いて獲らるべき種類の概念は得るに難からずと信ず。

八丈島は四時暖流の影響を受けて氣候溫暖, 九州北部と同緯度なるにも關はず植物相は著しく熱帶的にして, 昆蟲に於いても同様の傾向濃厚なり。

本目録中に於いて同翅目3新種, 鱗翅目1新亞種を記載す。又特に注目すべき事柄は, 蝶, 甲蟲等の或るものゝ形狀が著しく矮小となりて, 特に地方的型を形成するものゝあることなり。

Class INSECTA 昆蟲綱

Subclass *APTERIGOTA* 無翅亞綱

Order *THYSANURA* 總尾目

Suborder *Ectognatha* 外腮亞目

Family *Machilidae* いしのみ科

1. *Machilis putealis* Matsumura イシノミ

體は褐色。青銅色の光澤ある鱗片を被る。複眼は大形にして左右相接し, 觸角は細長く突出するも體長よりは短かし。尾毛は中央のもの體長よりも僅かに短かく, その兩側のもは中央のものゝ1/3よりも少し短かし。

八幡神社内檜の巨木の皮部に靜止し居たるものを採る。活潑なる昆蟲なり。

體長：(尾毛を除き) 6 mm., 尾毛 8 mm.

北海道，本州等に産す。樹皮，苔蒸したる岩石等に棲む。

Subclass **PTERIGOTA** 有翅亞綱

Order **ORTHOPTERA** 直翅目

Suborder **Saltatoria** 跳躍亞目

Family **Gryllidae** こほろぎ科

2. *Homoeoxipha lycoides* Walker イブキスズ

叢間に棲む小形の鳴蟲にして，體は赤褐，前翅は透明なるも基半部，中央，翅端等に暗色の大紋を裝ふ。

觸角は基節及びその次の節は黒色なるも，他は暗色。

前，中兩肢及び下唇鬚は黒褐色，後肢は脛節及び跗節の第二節以上は黒褐色にして，脛節と跗節の基節は帶白暗色なり。

體長：5 mm.

リーリーリーリーと抑揚のある可憐な聲にて鳴く。本邦内地，臺灣其の他東洋熱帯地方に産することを知らる。

Family **Locustidae** きりぎりす科

3. *Xiphidion maculatum* le Guillon ホンササキリ

體は淡綠色を呈し光澤あり，背面及び翅は淡褐色を呈す。頭頂は觸角間に於いて前方に突出し，下面は額と續きて傾斜せる顔面を形成す。頭頂は栗色，その兩側は細く黄白色，複眼は黒褐にして突出す。觸角は淡褐色，翅端を越ゆ。

前胸背は頭長の約2倍，背面栗色にして黄白色に縁取られ，栗色部は後方幅廣く，前方は狭まりて頭頂の同色部と連續す。後縁は半圓形を呈し，多少上反し且つ後方に延びて發音器の一部を覆ふ。

前翅は淡褐色，體長と略等長にして，末端より後翅端を露出す。後徑脈に沿ひ稍方形を呈する暗褐紋を並列す。

脛節は淡綠色，各肢の膝より先は淡褐色を呈す。

腹部は淡綠色なれども背面は褐色なり。

體長：(翅を除き) 14 mm., (翅端迄) 21 mm.

原野に於いてシユル、、、、と低音にて鳴く種類にして、飛行場附近に於いて2♂♂を獲たるのみなり。本島に於いては個體數少し。

本州、四國、九州、小笠原島、臺灣、支那 馬來 アフリカ等より知らる。八丈島よりは既に松村博士の記録あり (昆蟲大圖鑑 p. 1363, 1931)。

Family Acridiidae ばつた科

4. *Locusta danica* Linnaeus トノサマバツタ

體は綠色 (中には暗褐色の個體あれども採集品は何れも綠色種に屬す)。

觸角は淡褐色、複眼はチヨコレート色、複眼の後方に幅廣き褐色の縦紋あり。觸角の基部は淡褐色、顔面の縦隆起線、複眼の前側より大腮基部に走る大紋等は褐色。上唇は淡黄白色、その兩側より藍色の大腮を露はす。

前胸背は中央圓く隆起し、後半は側方に張り、後端は鋭角を爲して突出し、前翅の基部を覆ふ。

前翅は淡褐色、翅脈は黄白色、背室 (dorsal area) は無紋、他の部分には多數の黒紋を散布しその部分の翅脈は黒色を呈す。

體下面は褐色、前、中肢は淡褐色、後肢の腿節は綠色、脛節は朱赤色を呈す。

體長：(翅を除き) ♂ 33 mm., ♀ 46 mm. (翅端迄) ♂ 42 mm., ♀ 66 mm.

北海道、本州、四國 九州、朝鮮、支那等に分布す。八丈島に於いては飛行場に甚だ多數棲息す。

5. *Aiolopus tamulus* Fabricius マダラバツタ淡綠色、細長き種類なり。觸角は淡褐色なれども末端附近は暗色、複眼は大形にして栗色、頭頂は淡黄褐色を呈す。前胸背は中央少しく縊れ、肩部は強く張り、後縁は鈍角狀に突出す。中央に淡黄褐色の縦紋あり、その兩側は黒褐色。

前翅は長く淡褐色、背部は無紋なれども他部には不明瞭なる暗色紋を具へ、基部には前縁に淡綠色の幅廣き縦紋あり。

體下面及び肢は淡緑褐色，後肢は淡綠色，脛節は淡黄褐色にして末端部は淡紅色を呈す。

體長：(翅を除き) 26 mm., 翅端迄 35 mm.

飛行場に於いて1頭を獲たるのみにして個體數少きが如し。本州，臺灣，ビルマ，ジャヴァ，セレベス，濠洲等に産す。

6. *Patanga japonica* Bolivar ツチイナゴ

赤褐色 細毛を装ふ。複眼は黒褐色，觸角は褐色，著しく長からず。頭頂の縦紋は淡褐色，頰に黄褐色の2縦線を具ふ。

前胸背は中央に淡褐色の縦紋を装ふ。これは頭頂のものと同様と接続す。前半部は細く後半は擴がり，後縁は圓く突出す。中央の縦隆起線は顯著ならず。側縁は黄褐色を呈す。

前翅は暗褐色，背部は黄白色，基部兩側は暗褐色，其の他の部分に黒紋を散在すれども中室に黄色の數紋を縦列す。

體下，肢，腹部等は赤褐色，後腿節の縦隆起線及び跗節は黒色，後脛節の刺は黄褐色なり。

體長：(翅を除き) $\left\{ \begin{array}{l} \delta \text{ 40 mm.} \\ \text{♀ 48 mm.} \end{array} \right.$ (翅端迄) $\left\{ \begin{array}{l} \delta \text{ 44 mm.} \\ \text{♀ 58 mm.} \end{array} \right.$

路傍に普通に見らる。本州，四國，九州，臺灣，支那，北印度等に産す。

本種には背面の縦條不明瞭のものあり，これをツチイナゴと稱し，鮮明なるものを *P. succincta* Linnaeus セスデツチイナゴと誤認さるゝ事多し。然れども後者は臺灣産にして著しく巨大なるを以て區別し得べし。

Order **ODONATA** 蜻蛉目

Suborder **Anisoptera** 不均翅亞目

Family **Libellulidae** とんぼ科

7. *Orthetrum speciosum* Uhler シホカラトンボ

♂，體は灰白粉に覆はる。

頭頂は黒色，複眼は黒褐色，額及び額片は暗白色。

胸側面の3斜條は黑色、腹部末端部は黑色なれども、灰白粉に覆はるゝ爲その堺のは不明瞭なり。上附器は黒褐色白粉に覆はる。

翅は透明、翅脈は黑色、縁紋は黒褐色、肢は一樣に黑色なり。

雌の體色は著しく異り麥藁色にして、胸部側面の第1、第2、兩斜條間及び第3斜條の後側は乳白色を呈す。腹部は第7節以下、背隆起線、兩側に並列せる斑紋等黑色を呈し、尾端は白色なり。ムギワラトンボと呼ばれるゝはこれなり。

體長：♂ 52 mm. ; 前翅の開張：♂ 82 mm.
♀ 48 mm. ; ♀ 77 mm.

個體數は多からざるも、水田附近には可成り認められたり。本州、四國、九州、臺灣、支那等に産す。

附記 羽化當時は共に同色にしてムギワラ色なれども時間を経るに従つて雄は固有の色彩を呈するに至る。又雌にして雄と同様の色彩なるものもあり。

8. *Orthetrum triangulare* Selys オホシホカラトンボ

前種に似たれども大形なり。

褐眼は黒褐色、額瘤及び額等は黑色にして、同色の短毛を装ふ。胸部及び腹部は黑色、一樣に藍灰粉にて覆はる。腹端のみ粉を缺く。

翅は透明、翅脈、縁紋共に黑色、翅端は暗色を帯び、後翅底は黒褐色を呈す。肢は全體に黑色なり。

體長：♂ 52 mm. 前翅の開張：82 mm.

唯1頭の雄を獲たるのみ、その後目撃せず。日本全國、琉球、臺灣に亘りて棲息す。

9. *Pantala flavescens* Fabricius ウスパキトンボ

頭部は大、複眼は褐色、額瘤、額等淡黄褐色。胸、腹部等は黄褐色にして胸側に黒條を缺き、僅かに申胸下方の兩側に小黒褐紋を装ふに過ぎず。上附器は黑色、肢は何れも腿節の基半部淡黄褐色を呈し外方は暗色なり。

翅は體に比して大、透明、多少黄色を帯び後翅の内縁に接して橙色を呈する部分あり。翅脈は大部分黒褐色なれども前縁並に横脈に黄褐色を呈する部分

あり。縁紋は短かく、暗褐色を呈す。

體長：♀ 47 mm., 前翅開張：88 mm.

街路上を飛翔するもの數頭を見たり。本種は分布區域廣く、日本全國、支那、ボルネオ、セレベス、フィリツピン、マダガスカル等記録せらる。

本島に於いて發見せる蜻蛉目は以上3種のみにして、特に注意を拂ひたれどもイトトンボ、ヤンマ等の類は發見し得ざりき。

Order HOMOPTERA 同翅目

Suborder Sternorrhyncha 腹吻亞目

Family Psyllidae きじらみ科

10. (鑑定依頼中)

淡黄褐色；複眼は暗褐色；頭頂、前中胸背を通じて中央を走る太き縦條、前胸背の前縁、中胸背兩側の細き縦條、中胸小盾板等は黄白色。頭頂に各1箇宛深き凹陷あり。

前翅は乳白色半透明、翅脈も同様。觸角は淡褐色にして體長の半よりも少しく長く、末端黑色を呈す。

體下面、肢等は一様に淡黄褐色なり。

體長：(翅端迄) 3.5 mm.

寄生植物は明かならず。

11. (鑑定依頼中)

體橙褐色、頭頂及び前胸背(凹點及び縦溝を除き)黄白色。觸角は淡褐色にして末端黑色、略體長の1/4に等し。

中胸背の不明瞭なる4縦條、中後胸小盾板等は黄白色なり。雌の生殖節は甚だ長く、腹長の2/3に達す。

前翅は半透明、翅脈は乳白色、縁紋、第2肘脈端の1紋、翅端の大紋等は黒褐色なり。

體下面は橙褐色、肢は淡黄褐色なり。

體長：(翅端迄) 3 mm.

Subfamily **Auchenorrhyncha** 頸吻亞目

Family Flatidae あをばはごろも科

12. *Geisha distinctissima* Walker アヲバハゴロモ

體翅共に黄綠色，翅は多少の白蠟粉を被る。

頭は圓く前方に突出し，額は平滑，兩側は隆起す。複眼は暗色，觸角は黄綠色にして端毛暗色を呈す。中胸背に3縦隆起線を有し，その部分は幅廣く淡色なり。腹部は白蠟粉にて覆はる。

翅は幅廣く，前翅脈は黄褐色，外縁部は細く朱褐色を呈し美麗なり。後翅は乳白色，半透明，白蠟粉を被る。

體長：(翅端迄) 10 mm.

葛より亂獲にて獲たり。本州，四國，九州，屋久島，琉球，臺灣，支那等に分布す。柿，桑，梅，桃，茶其の他灌木類を害す。

Family Issidae まるうんか科

13. *Gergithus variabilis* Butler マルウンカ

體は圓く，一見テナタウムシに類す。暗黄褐色，複眼は黒褐色，前頭は僅かに弧狀を爲せども殆ど直線に近し。顔面平坦にして全く隆起線を具へず。前胸背は極めて短かく，兩側は體側に達せず。中胸背は三角形にして，後端は直角よりも僅かに小なる角度を爲す。

前翅は稍半透明にして後翅の位置を知るを得べし。翅脈は不明瞭なる網目狀にして，前縁中央に1箇(大形の)，その外方に1箇(棍棒狀)の黒褐紋を具ふ。

體下面及び肢等は淡黒褐色を呈す。

體長：(翅端迄) 5.5 mm.

クズにて採集せり。本州，四國，九州，臺灣に産し主として山地に多く發見さる。

個體數1♂，2♀にして内1頭は前翅に斑紋を缺く變種 *Gergithus variabilis*

Butl. forma *unicolor* Matsumura なり。

Family Typhrocycbidae ひめよこばひ科

14. **Empoasca capitata** sp. nov. ヒコサヒメヨコバヒ (新種)

Type ♀. 頭部は淡橙褐色、著しく大、複眼は頭頂の幅の1/2に等しく、長さは頭頂の半分より僅かに短かし。觸角は淡橙黄色、額頂に並列する2黒點を裝ふ。

前胸背は淡色、頭長よりも少しく長く、中央は深き凹線に依りて前後に區分せらる。稜狀板は淡褐色、斑紋等不明瞭なり。

腹部は淡褐色にして各節の後縁は廣く暗色を呈す。生殖節は大きく殆ど腹部の1/2の長さを有し、末端より産卵管突出す。

前翅は半透明、前翅脈は翅端1/3及び肘脈のみ明瞭にして他は點線狀を呈し不明瞭なり。後翅脈は明瞭、翅端室2箇を具ふ。

體長：(翅を除き) 3 mm., (翅端迄) 5 mm.

產地：八丈島三根村。

Head distinctly large, pale orange yellow; eyes about 1/2 as broad as vertex, length of head somewhat shorter than vertex; antennae pale orange-yellow, two small spots on apex of frons black.

Pronotum paler than vertex, longer than head, divided into two parts by a deep transverse incisure. Scutellum pale-brown, markings obscure.

Abdomen pale brown, each posterior segmental margin broadly infuscated; genital segment large, about 1/2 as long as abdominal length.

Tegmina semihyaline, with distinct venation on apical 1/3 and Cubitus, but others obscure. Wings with distinct venation, with two apical areas.

Length excluding tegmina : 3 mm., including tegmina 5 mm.

The present species closely allied to *E. subrufa* Melichar, but head and eyes are larger than the latter.

Locality : Mitsuné-Mura, Hachijo Island, on July 25, 1940, collected by the author.

The type preserved in the author's collection.

15. *Chlorita flavescens* Fabricius ミドリヒメヨコバヒ

體は淡綠色，斑紋を缺く。複眼は暗色にして大；前翅は僅かに黄色を帯び半透明，翅脈は外縁部に於いて幾分綠色を帯ぶ。體下面，肢等も淡綠色なり。

體長：翅端迄 3 mm. 繊細なる種類にして種々なる植物に害を與ふ，分布範圍も甚だ廣く，殆ど全世界に亘る。

Family Jassidae よこばひ科

16. *Euscelis fusconervis* sp. nov. スチグロヒヨコバヒ (新稱)

Type ♀. 淡き藁色。頭部は前胸よりも幅廣く，前頭は圓く突出し，頭長は頭頂の幅の 1/2 に近し。複眼は暗色，長軸は頭頂の半分に等し。複眼間を走る幅廣き横帯は黒褐色，これは中央部延長して後縁に達す。

前胸背は頭頂よりも少しく長く，前縁に近く彎曲する黒褐色の點列あり。稜狀板は直角三角形，前胸背よりも少しく短かく，前縁角及び中央部は淡色にして中央に 1 横溝あり，その前側に接して 2 箇の黒褐點を裝ふ。

前翅は半透明，翅脈は暗褐色，但し内片上に於いては黄褐色にして暗色に細く縁取らる。腹部は暗色，後縁は細く體の地色を現はす。

體下及び肢は淡き藁色，額の兩側に彎曲せる暗色の横線を具ふ。

體長：(翅端迄) 5 mm.

本種は *Euscelis ogikubonis* Matsumura ウスイロヒヨコバヒに似たれども體の小形なること複眼間の黒帯，翅の色等に依り區別するを得べし。

產地：八丈島三根村。

Pale stramineous. Head broader than pronotum, frontal margin circularly produced, its length nearly 1/2 as broad as vertex; eyes fuscous, its length about 1/2 as broad as vertex; a broad fascia between eyes blackish-brown,

its central area extending towards posterior margin.

Pronotum slightly longer than head, with a curved blackish-brown spots line near anterior margin. Scutellum right angled triangular shaped, divided into two parts by a curved transverse incisure line, anterior lateral area paler, central two spots situated above incisure line blackish-brown.

Tegmina semi-hyaline, veins fuscous, but on corium pale ochraceous and narrowly bordered with fuscous shading.

Abdomen fuscous, posterior margin of each segment narrowly stramineous.

Body beneath and length pale stramineous, several curved transverse fasciae on frons fuscous.

Length including tegmina 5 mm.

Locality : Mitsuné-Mura, Hachijo Island On July 24, 1940, collected by the author.

The type preserved in the author's collection.

Family Acocephalidae ひらたよこばひ科

17. *Tartessus ferrugineus* Walker ハチジョウヲサヨコバヒ [pl. I, 3]

體黃褐色（生時は綠褐色）。頭頂は極めて短かく、著しく前方に突出す、複眼は暗色、大形、前縁に太き黒條を横走し、その兩側頭頂に位して紅色の單眼を裝ふ。頭頂の彎曲せる横帶はそれよりも細く兩端は觸角の基部に接す。前胸背は甚だしく前方に突出し多數の横皺を裝ふ。稜狀板は前胸背と略等長にして後端刺狀に鋭く突出す。

前翅は殆ど不透明、翅脈は地色と同様、體下及び肢も同色後、脛節の刺の基部は黑色を呈す。

體長：（翅端迄）8mm。イヌビハにて捕獲す。本州の一部、四國、九州、屋久島、臺灣、印度、馬來半島、同群島等に廣く分布す。

Family Cercopidae こがしらあわふき科

18. *Rhianulax assimilis* Uhler コガンラアワフキ

體翅暗褐色。點刻を密布す。頭部及び複眼は黒褐色、前頭は突出し、褐色の微毛を装ふ；單眼は紅色にして複眼の中心を連らぬる直線より前方に位し、その間隔は複眼よりそれに隣れる單眼に至る距離よりも狭し。

前胸背は頭長の約2倍の長さあり、灰色の微毛を装ふ。稜狀板は銳角を成して尖り、灰色の長き微毛を稍密に装ふ。

前翅は一様に暗褐色にして微細の點刻と灰色の微毛とを装ふ。

體下面は黒褐色、肢は暗色又暗黄褐色を呈す。

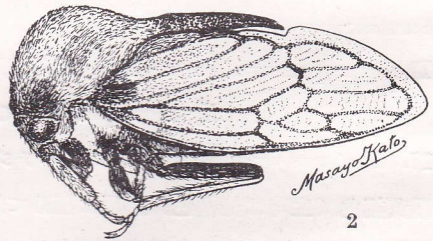
體長：(翅端迄) 7 mm. 北海道，本州，四國，九州，屋久島等に分布す。

Family Membracidae つのぜみ科

19. *Gargara hachijo-insulana* sp. nov. ハチジヨウマルツノゼミ [新種]

♀ 黒褐色。微細なる點刻及び褐色の微毛を密に装ふ。頭部は幅廣く複眼は大、頭部並に中胸背の前縁部は黒色、後部突起は鋭く突出し、前翅の内縁角に達す。

前翅は淡黄褐色を帯び半透明、翅脈は褐色、翅底は



1. *Euscelis fusconervis* sp. nov.

2. *Gargara hachijoinsulana* sp. nov. 3. Do. Head.

革質にして點刻と微毛とを装ひ、翅脈には二列に微毛を装ふ。

體下及び腿節は黒褐色、脛節以下は赤褐色、胸側に白毛斑を装ふ。但し個體に依りこれを缺くものあり。

體長：(翅端迄) 5 mm.

♂ 小形，全體に黒味強く，胸側の白毛斑を缺く。♀同様褐色の微毛に覆はる。葛を亂獲して獲たり。

體長：(翅端迄) 4 mm.

Closely allied to *G. genistae* (Fabricius), but differs by the following points :

1. Body robust, pubescent with gold-brown hairs.
2. Ocelli larger than that species, pale brown, glassy.
3. Tegmina yellowish semiopaque, apices fuscous, veins pale brown or chocolate brown.

Length including tegmina $\left\{ \begin{array}{l} \text{♀} \ 5 \text{ mm.} \\ \text{♂} \ 4 \text{ mm.} \end{array} \right.$ width between humeral angles :
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{♀} \ 2 \text{ mm.} \\ \text{♂} \ 1.8 \text{ mm.} \end{array} \right.$

Locality : Mitsuné-mura, Hachijo Island. On July 24, 1940, collected by the author on *Pueraria triloba* Makino.

The type preserved in the author's collection.

Family Cicadidae せみ科

20. *Meimuna opalifera* Walker ツクツクボウシ

小形細長き蟬にして體は暗黄綠色，新鮮なるもの體に絹様の鱗毛を装ふ。頭は三角形に突出し，頭頂は黑色，單眼の兩側後縁に接し，中央に1黒點を含む暗黄綠色の1紋あり，額頂の中央の矢の根形の1紋，その前側の細線 觸角底の上方等黑色。

前胸背中央の2縦線(中央に1形の1紋を含む)，その兩側の短かき縦紋，斜溝，縁溝等は黑色。中胸背は黑色にして，側縁，それに隣れる大なる縦紋，X字形隆起等は暗黄綠色 中央の八字形の短かき縦紋は黄褐色を呈す。

腹部は黑色，第3節の兩側は黄褐色，金色の鱗毛を装ふ。

體下は淡灰褐色。顔の前縁，額の後半，頬，前基節，額の縦溝の兩側の凹陷

せる横線等暗色を呈す。中、後肢の基節附近、脛節端、跗節の末端、腹面等暗色。腹瓣は淡灰褐色、末端鋭角を成して延長し、第4腹節の中央に達す。

體長：(翅を除き) 29mm., (翅端迄) 42 mm.,

本島各所に鳴聲を聴く。北海道、本州、四國、九州、支那に産し、臺灣には變種 *var. formosana* Kato を産す。

八丈島には本種以外の蟬は發見せられず。又東京附近に多き腹瓣の黒褐色なる變種 *var. nigroventris* Kato は産せざるが如し。

Order HETEROPTERA 異翅目

Family Miridae めくらかめむし科

21. *Creontiades bipunctatus* Poppius アカホシメクラガメ

體は淡黄綠色、複眼は圓く暗色を帯び、頭頂に不明瞭なる暗色紋あり、觸角は體長より少しく長し。前胸背は梯形にして前縁は高さと同等しく、後縁は前縁の約2倍あり。稜狀板は略正三角形に近く、末端に暗色紋あり。

半翅鞘は淡綠色、爪狀部 (clavus) の内側縁は淡朱紅色、これは後方に伸びてその兩側に同色の1紋を裝ふ。膜質部は淡褐色透明、脈は紅色を帯ぶ。

肢、口吻等は淡褐色、胸側より腹面へかけて黒褐色を呈す。

體長：(翅端迄) 6 mm. 叢間に獲たり。本土にては極めて普通種に屬す。本州、四國、九州、臺灣等に産す。

22. (未 同 定)

微小種、暗色、光澤あり。頭部は暗黄色、複眼は黒褐色にして突出し、觸角は暗黄褐色、第1節は太短かく、第2節は最も長く、細きも半ばより先は太まりて暗色を呈す。

前胸背は頭部の2.5倍の幅を有し、中高にして微細の點刻を裝ふ。稜狀板は小形なり。

半翅鞘は暗色、半透明、膜質部は暗色透明なり。

體下は黒褐色、肢は黄褐色を呈す。

體長：(翅端迄) ♂ 1.8 mm., ♀ 2.4 mm.

Family Reduviidae さしがめ科

23. *Empicoris brachystigma* Horváth マダラカモドキサンガメ

體細長く一見双翅目の或る種に似たり。體暗褐色，灰白紋を散在す。頭部は大形，暗色。灰白條あり，複眼は球形にして大，黑色，小眼の數少し。觸角は甚だ長く絲狀，黒，白交互の斑を成し美麗なり。前胸背の前半には稍波狀を爲せる4縦條あり，後半には不明瞭なる縦條を裝ふ。

前翅は長く，暗色の地に不規則なる網目狀の灰白線を裝ふ。稜狀板は細長き二等邊三角形にして，その底邊の長さは高さの約1/4に等し。

肢は細長，黒と灰色との交互の斑をなし，前肢は捕獲肢を形成す。體の下面は暗褐色を呈す。

體長：(翅端迄) 4.5 mm. 室内を飛翔中のものを獲たり。小形なる爲發見し難し。本州及び九州より知られたる種なり。

Family Gerridae あめんぼ科

24. *Gerris gracilicornis* Horváth コセアカアメンボ

體暗褐色，頭部は長く前方に延長し，その長さは複眼間の幅の2倍に等し。複眼の前方に接し不明瞭なる淡色の1紋あり。複眼は黒褐色，球狀に突出し，觸角は細長く第2節最も長し，暗褐色なれども末端の2節は暗色なり。

前胸背は體長の1/3よりも少しく長く，正中線は淡色，前翅は腹部よりも短かく，翅脈は灰褐色，各腹節の接合部の兩側に銀白色の1小紋を裝ふ。

體下面是黒褐色なれども銀白色の微毛に覆はれ，ピロウド狀を呈す。肢は淡き赤褐色，末端附近は黒褐色なり。

體長：♂ 9 mm., ♀ 11 mm.

本島に於いては水溜，山間の溪流共に本種以外には發見せず。又日本昆蟲圖彙 p. 1647, fig. 3253 の記載に一致せざる點は前胸背前縁の“二個ノ大黒紋アリ”と云ふ部分にして，八丈島にて獲たる全標本中に斯かる斑紋を有するもの

は1頭も無かりしも、他は全く一致するを以て該種と見做したり。本州、九州、朝鮮、臺灣、支那、印度等より知らる。

Family Pyrrhocoridae ほしかめむし科

25. *Physopelta cincticollis* Stål ヒメホシカメムシ [Pl. I, 6]

頭部は暗色、鋭角三角形を成して突出す。複眼は黒色にして球形、觸角は暗色、體長の約2/3、第1節と第2節とは略等長、基部、末節の基部約1/3は灰白色を呈す。

前胸背は暗赤色、周縁朱褐色、前半膨起して滑澤、後半は平たく粗大の點刻を裝ひ、中央に縦隆起線を具ふ。

稜狀板は暗赤色、微細の點刻を裝ふ。半翅鞘は朱赤色にして暗色の點刻を裝ふ、爪狀部に於ける點刻は大にして濃色。中央及び革質部の末端に黒紋を裝ひ、前者は圓くして大なり、膜質部は大部分黒色、基部に1黒紋を裝ふ。

體下及び肢は一樣に暗赤色を呈す。

體長：(翅端迄) ♂ 10 mm. ♀ 12 mm.

アカメガシハの花部に群集せるものを獲たり。本州、四國、九州、臺灣、印度等に分布す。

26. *Physopelta gutta* Burmeister オホホシカメムシ

前種に似たれども大形、頭部は暗赤褐色、複眼は黒褐色、球形、觸角は暗褐色にして末節の基部約1/3は灰白色、

前胸背は暗赤色、前縁及び側縁は淡暗朱色、前方約1/3は點刻不明瞭、後方は明瞭なり。稜狀板は黒褐色、略正三角形、淺き點刻を散在す。半翅鞘は暗朱赤色、基部附近は暗色強し。前縁部は淡色、革質部の中央の大圓紋、末端部、膜質部等は黒色。

胸下及び肢は暗赤色、基節及び腹部は淡色なり。

體長：(翅端迄) 16 mm.

前種と同所にて採集せるも個體數は少し。本州、四國、九州、支那、印度等

に分布す。

Family Lygaeidae ながかめむし科

27. *Pamera nietneri* Dohrn モンクロナガカメムシ (改稱)

黒色、觸角は暗色、體長の半以上に達し、末節の基部約 1/3 は黄白色。

前胸は中央部より少し後方に於いて縊れ、無光澤、點刻を装ふ、縦隆起線の後端は黄褐色を呈す。稜狀板は二等邊三角形、前者と同色、同様の色彩、點刻を装ふ、末端は黄白色を呈す。

半翅鞘は腹端に達せず。革質部は黄白色にして基部に黒紋を散在し、中央に在る稍圓形を呈する大なる 1 紋、末端等は黒色を呈す。

體下黒色、肢は暗黄褐色、但し部分的に濃淡あり。

體長：11 mm. 石下等に多し。本州、四國、九州、琉球等に分布す。松村博士は既に八丈島を記録せり (昆蟲大圖鑑, p. 1190.)。

28. *Eucosmetus* sp.

體黒色、頭部は光澤を缺き複眼間の幅は頭長よりも短かし。複眼は黒色、球形に近く、突出す。單眼は淡褐色にして後頭に存在し、その間隔よりも複眼に近し。觸角は淡暗褐色、4 節より成り、第 2 節最も長く、第 1 節の中央部、第 2 節の中央部、第 3 節の末端等は暗色を呈す。

前胸背は光澤ある黒色、3 部に分たれ、前端は襟狀を呈して點刻を具へ、第 2 部は全長の略中央部に於いて縊られて球狀に近く、滑澤にして點刻は不明瞭なり、その幅は頭部に等し。第 3 部は梯形を呈し後縁は一直線、その長さは高さ (梯形に於ける) の約 2 倍あり。

稜狀板は二等邊三角形、中央に Y 字形を呈する隆起線あり、淺き點刻を装ふ。

半翅鞘は半透明、多少黄色を帯ぶ。革質部の基部、中央及び末端に黒紋を具ふ。膜質部は淡黄色半透明なるも腹背を透視するを以て暗色に見ゆ。

體下は黒褐色、光澤を缺く。口吻は暗褐色、肢は淡褐色、前肢は基、轉、腿

(末端を除き), 中, 後兩肢は腿節の外方半分暗褐色を呈す。

體長 : 6 mm.

ヘウタンナガカメムシ (*E. albmarginatus* Scott) に似たれども前胸の縊れは中央にあり, 半翅鞘が淡黄色半透明なること, 肢の色彩等に依り區別し得べし。

29. *Pamera* sp.

前種に似たれども小型, 黒褐色, 光澤を缺く。前胸は中央よりも後方に於いて縊れ, 淺き點刻, 不明瞭なる正中線を裝ふ。稜狀板は前種よりも短かく, 前胸背同様の點刻と正中線とを具ふ。

半翅鞘は淡黄褐色, 革質部の翅脈間に黒褐色の點刻を密布し, 接合部に卵形の淡色紋あり。膜質部の翅脈間は暗色を呈す。

觸角, 肢等は淡褐色, 前者の第1節は最短, 第2節と第3節とは等長, 第4節はそれよりも長し。前腿節は暗褐色を呈す。

體長 : 5.5 mm.

30. *Pamera* sp.

黒褐色, 微細なる點刻及び金灰色の微毛を裝ふ。頭部は大, 前胸背基部と殆ど等しき幅を有し, 複眼は黑色, 球形にして突出す。頭長は複眼間の幅よりも少しく長し。單眼は淡紅色にして後頭の兩側, 複眼に接して存在す。

前胸背は明瞭に縊られ, 襟は明瞭なり。第二縊線は中央よりも少しく後方に在り。第三部には粗き點刻を裝ふ。稜狀板は二等邊三角形なれども大ならず, 中央に不明瞭なる正中線あり。

半翅鞘, 觸角, 肢等は淡き麥稈色, 革質部の翅脈間に粗大の點刻を粗布し, 後縁に接して暗色線にて圍まれたる淡色の大紋あり。膜質部は腹端に僅かに達せず, 翅脈間は淡き暗色を呈す。

觸角は略次の比例を爲す(第1節を1として比較す) 1 : 1.1/4 : 1.1/4 : 3. 前腿節(末端を除き), 中, 後兩腿節の外方並に腹面は暗色を呈す。

體長：3.6 mm.

Family Coreidae へりかめむし科

31. *Stictopleurus crassicornis* Linnaeus プチヒメヘリカメムシ

體觸角、肢共に淡黄綠色、黒褐色の點刻を密布す。複眼は黒褐色、座を具へ著しく突出す。單眼は大、淡紅色にして大形、著しく突出す。觸角は4節より成り、第1節は最短にして棍棒狀、2、3兩節は第1節の約2.5倍の長さを有し、第4節は太くして第3節の1.1/3倍あり。

前胸背には黒褐色の點刻を密布し、正中線、後縁等には點刻を缺く。前縁に近く1横溝を具ふ。稜狀板は二等邊三角形、末端は圓味を持ち上反す。黒褐色の點刻を裝ふも正中線、兩側角、末端等には夫れを缺く。

半翅鞘は透明、全體に膜質にして革質部に當る處の翅脈は淡黄綠色に黒褐色部を交へ極めて明瞭なり。

肢の點刻及び後腿節の大紋は黒褐色、口吻も同色、體下は淡黄綠色を呈す。
(石原保氏鑑定)

體長：(翅端迄) 7.5 mm. 北海道、本州、四國、九州、歐州、北米、シベリア等に分布す。

Family Pentatomidae かめむし科

32. *Eusarcoris guttiger* Thunberg マルシラホシカメムシ

體圓形に近く淡黄褐色、黒褐色の點刻を密布す。頭部及び前胸背前縁の兩側は黒色。前胸背及び稜狀板の正中線には點刻を缺く。稜狀板は長く末端圓形、基部の兩側に黄白色の圓紋あり。

半翅鞘革質部には黒褐色の點刻を密布し、膜質部は透明。

體下は黒褐色、腹側は淡黄褐色 觸角及び肢は黄褐色にして後者には暗褐點を裝ふ。

體長：4.5 mm. 本州、四國、九州に分布す。

33. *Eusarcoris* sp.

前種に似たれども體短かく紫黒銅色の光澤あり、半翅鞘は腹端外に延長す。
稜狀板の圓紋大なり。

體長：4.8 mm.

34. *Eusarcoris* sp.

これ又 No. 32 に似たれども體稍長く、稜狀板大、腹端に近く延長す。稜狀板の圓紋は小なり。

體長：6 mm.

35. *Coptosoma punctissima* Montandon マルカメムシ

體圓く黄褐色に綠色を混じ光澤あり。不規則に小圓紋を散在し、その中央に點刻を具ふ。複眼は突出せず、頭頂は暗褐色、複眼の内側は黄褐色。前胸背は中央より少しく前方に暗色の1横帯を具へ、それより前方は黄褐色を呈し、左右の大なる”へ”字形紋、側縁の斜線、點刻等は暗褐色を呈す。正中線は黄褐色なり。

體下は暗緑褐色、觸角、肢等は黄褐色を呈す。

體長：4.5 mm. クズに採集す。本州、四國、九州に産す。

異翅目に屬する昆蟲は特に注意せしも以上の如きものを獲たるのみなり。

Order LEPIDOPTERA 鱗翅目

Suborder Heterocera 蛾亞目

Family Noctuidae やが科

36. *Nyetipao crepuseularis* Linnaeus オホトモエ

體黒褐色、背面暗灰毛に覆はれ、腹部第1節は黒褐色、第2節は白色、その以下は暗灰色を呈す。複眼は黒褐色にして圓く、下唇鬚頭頂及び觸角は褐色を呈す。

前、後翅共に黒褐色、前翅中室の外方に存する巴形の1紋は周縁細く黒色、内側暗褐色にしてその外方に白線を有す。巴紋の外側を取巻く白帯は後縁に達し、更に後翅底に存する同色の長毛より成る斑紋と接續す。白帯の外方には同

色の細き横線ありて前後縁を接續す。前縁外方の三角紋も白色、第1—3室並に第5—6室の波狀線も白色、前縁角より上記の白線を経て第1室外方に達する波狀線の外方は暗褐色を呈す。

後翅は前翅と同一色調を呈し、翅底の白帯に接して外方に黄褐帯あり、同色の長毛を生ず。中央部を斜に横斷する直線、前縁外方の三角紋等は白色にして、前者よりは同色の長毛を生ず。外縁には波狀線を具へ、その内方は暗黄褐色、外方は暗褐色、その境處々に黄白色の細線を具ふ。

體長：30 mm.；開張：89 mm 本種は一生徒の捕獲せるものにして島外に於ける分布區域は廣く、北海道、本州、四國、九州、琉球、臺灣、アムール、支那、滿洲、スマトラ、印度、マダガスカル、アメリカ等に亘る。

採集したる蛾はこれ1種なりしも他に小蛾類の普通種を二三見たり。

Suborder *Rhopalocera* 蝶亞目

Family *Hesperiidae* せせりてぶ科

37. *Parnara mathias* Fabricius チャバネセセリ

(♀) 表面黒褐色、前翅第1室の大部分及び第2室底部に黄色毛を装ふ。外半部に8箇の白點を圓形に装ひ、第3室のものは最大にして靴形を呈す。その下方(微小)及び第1脈に接して第2室に同色の紋を具ふ。

後翅表面は無紋にして廣く黄褐毛を装ふ、裏面は前後翅共淡色にして黄褐鱗を装ひ、前翅の斑紋は表面と同様なれども後翅に於いては5箇の小白點外縁に沿ひて弧狀に配置さる。

體は黒褐色、黄褐毛を装ふ。

體長：16 mm.；開張：36 mm. 花に飛來せるものを捉ふ。本州、四國、九州、朝鮮、琉球、臺灣、中南部亞細亞、アフリカ等に亘り産す。幼蟲は禾本科植物を害す。

38. *Rhopalocampta benjamini japonica* Murray アラバセセリ

複眼、下唇鬚、觸角、口吻等黑色、下唇鬚の兩側は橙黄色を呈す。頭頂、胸

腹部背面は^{ロクシヤウ}緑青色を呈し、腹端に橙黄色毛を装ふ。

前翅翅底部、後翅の内方等緑青色 後翅肛角附近より外縁の半迄美しき橙赤色を呈す。

裏面は一様に緑青色、前翅後縁は幅広く暗色、翅脈及び後翅橙赤色部の内側は黒色なり。

體長：20 mm. ; 開張：50 mm. 唯1頭を獲たるのみ。本州、四國、九州、琉球、臺灣、支那、印度等に分布し、幼蟲はアワブキを食害す。

Family Lycaenidae しじみてふ科

39. *Zizera maha* Kollar ヤマトシジミ

兩翅共に紫色を帯びたる空色。前翅の外縁及び後翅の前縁は廣く暗色、後翅の第1b乃至第5室外縁に黒褐紋を具ふ。

裏面は灰白色、多少淡褐色を帯ぶ。多數の黒點を具へ 前翅外縁に平行して3列、中室の外側に存在し、後翅に於いては外縁に2列、その内側に1列、翅底に1列あり、中室に”く”字形紋を装ふ。

體長：11 mm. 開張：29 mm. 樺太、南洋を除きたる日本全國に分布す。

Family Nymphalidae たてはてふ科

40. *Pyrameis indica* Herbst アカタテハ

本種は民家附近を飛翔せるもの1頭を見たるのみにして捕獲するに至らざりしものなり、日本全國に分布する普通種なり。

41. *Argynnis hyperbius* Johanssen ツマグロヘウモン

(♂) 前後翅共に橙黄色、前翅は多少濃色、赤味を帯ぶ。黒紋は比較的小形にして後翅外縁は廣く黒色、1b—4室に亘り弧狀の青色紋あり。

前翅裏面は淡紅橙色、翅端暗黄色、翅端以外の黒點は表面と同様なり。後翅裏面は黒紋現はれず、その位置は暗黄色、黒線及び白紋を散在す。

(♀) 前翅外半黒色、太き白帯及び青色紋を装ふ。基半部は暗紅橙色、黒點を數箇散在す。後翅の黒點は小、外縁は廣く黒色、弧狀の青色紋は二重なり。

裏面は大體雄に近し。八丈富士登山道に最も多し。本州（關東以西）、四國、九州、琉球、臺灣等に廣く分布す。

體長： $\left\{ \begin{array}{l} \delta \ 25 \text{ mm.} \\ \text{♀} \ 23 \text{ mm.} \end{array} \right.$ 開張： $\left\{ \begin{array}{l} \delta \ 64 \text{ mm.} \\ \text{♀} \ 70 \text{ mm.} \end{array} \right.$

Family Pieridae しろてふ科

42. *Pieris rapae* Linnaeus モンシロテフ

體黑色、白毛、白鱗を被る。兩翅共に白色、多少黄色を帶ぶ。前翅前縁の基半部、翅端、1b, 3 兩室の斑紋、後翅前縁の1 紋等は黑色なり。本島には餘り多く見掛けず。樺太、北海道、本州、四國、九州、朝鮮、琉球、歐洲、支那、シベリア等に分布し、十字科植物を害す。

Family Papilionidae あげはてふ科

43. *Papilio tuthus* Linnaeus アゲハテフ

體黑色。複眼の後縁、頭部より後胸背に續く2 縦條、腹部の大部分は黄白色、第1—4 腹節に黒紋あり。

翅は黑色、中室の4 縦條、その外方の() 形紋、後縁より翅端に達する8 紋、第1 室のものは”へ” 字形を呈しその外方は内側に曲る)、側縁の弦月紋等は黄白色。後翅に於いては基半部の各室並に外縁に弦月狀の同色紋あり。外縁部黒帶上の青色紋は不明瞭、内縁角の橙色紋は黄白色にして橙色を呈せず。

下面に於ける黄白紋は表面と同位置なれども一層大なり。

體長：31 mm. ; 開張：102 mm. 日本全土、滿洲、支那に分布す。

44. *Papilio bianor hachijonis* Matsumra ハチヂヨウカラスアゲハ (新稱)

本種は♀のみ記載されたるものにして、♂は未記録なるを以て記載す。

[Allotype ♂] カラスアゲハ春型 *P. b. japonica* Butl. 及び夏型 *P. b. dehani* Feld. との中間の大きさを有し、前翅に於いては綠色鱗と藍色鱗とを交へ、1a 室と1b 室の性毛は互に融合して大なる斑紋狀を呈す。

後翅の藍綠鱗はその範圍廣く、中央より外方に達す。中室より内方は綠鱗を密布すれども他の部分は藍色を呈す。側縁の弦月紋は弦月形を成さず、直線形

にして階段狀に接續す。尾狀突起は太く餘り長からず、中央に藍色鱗の縦紋あり。1b 室及び2室の後方に赤色の小紋を具ふ。

體黑色にして全體に綠色鱗を裝ふ。

裏面は黑色、前翅に幅廣き黄白の縦帯あり、翅脈及び各室の縦線に依りて切斷せらる。後翅は黄色鱗を散布し、各室の外方に赤色の稍方形を呈する斑紋あり、1b 室の末端には更に同色の1小紋あり。外縁の凹陷部は細く紅色、その外側は細く白色を呈す。[pl. 1, 10]

體長：30 mm. ; 開張：102 mm.

45. *Papilio sarpedon intermedius* subsp. nov. [pl. 1, 2]

ハチチヤウアラスチアケハ (新稱)

[Type ♂] アラスデアゲハ春型 *P. s. sarpedonides* Fruhstorfer に似たれども一般に小型、兩翅共に細し。

前、後翅を連ぬる青色紋列は著しく幅廣く、後縁に於ける最大なるものは黑色部の約1/3に近し、Ia, Ib, II, III, IV, 各室に於けるものは互に接續し、僅かに黑色の翅脈に依りて區切らるれども他型に在りては太き黒線にて分離せらる。又各紋の内側及び外側を連ぬる線はなだらかなる曲線を成せども他型にては著しく屈曲す。

後翅に於ける青色紋も大。Ib 室に存する縦紋は長く、後端は内縁角に接近す。半月紋は細し。尾狀突起部は殆ど直角に角張る。

體長：24 mm. ; 開張：66 mm.

Allied to *P. s. sarpedonides* Fruhstorfer but generally smaller and both wings narrower than former form.

A row of pale blueish patches on both wings much broader than any other forms belonging to this species, a spot on Ia-cell occupies about 1/3 of length of posterior margin of forewing. The blueish patches on Ia, Ib, II, III and IV cells united with each other and only divided by each longitu-

dinal vein while in other forms divided by distinct black lines.

The pale blueish patches on hind wing large, an elongate patch on I_b cell long, its apex nearly approaching internal angle. Lunules narrow ; position of tail-like process rectangularly angulated.

Locality : Hachijo Island, Tokyo Prefecture, many individuals collected by the author on July 24, 1940.

The type deposited in the author's collection.

Order **COLEOPTERA** 鞘翅目

Suborder **Lamellicornia** 鋸角亞目

Family Scarabaeidae こがねむし科

46. *Protaetia orientalis* Gory et Percheron シロテンハナムグリ [pl. 1, 5]

黒銅色。光澤強し。頭盾は前縁中央割られ強く上反す。頭頂は中央多少中高、側縁隆起し、點刻を密布す。前背板の中央附近は點刻少く淺く、兩側は深くして密なり。中央に4箇、後縁に2箇の顯著なる白點を裝ひ、前方に小白點を數箇裝ふ。稜狀板は滑澤にして兩側に少數の點刻を裝ふ。

翅鞘の點刻は大小不規則にして淺く、不規則なる白點多數を具ふ。尾節板は拋物線狀に突出し中央に二條の白點列と兩側に1箇宛の大なる白點とを具ふ。

腹面は背面と同色にして前肢基節、同腿節の内面、後脛節の内側等に黄褐色の短毛を裝ふ。胸側、腹節兩側の前縁等に白紋を裝ふ。

體長：21mm., 體幅：17.5mm. 北海道、本州、四國、九州等に分布す。

街路上を飛翔するものを多く見たり。近藤英夫氏の研究に依り種名を決定したるものなれども、採集品3頭は何れも♀の爲交尾器を検し得ざりしは遺憾とす。形狀東京産の標準種よりも著しく小なり、又東京産のものは胸側並に肢に顯著なる灰白毛を粗生すれども八丈島産のものは然らず。(東京産のものは體長25mm., 體幅13mm. あり)。

47. *Aphodius* sp.

♂ 黑色光澤あり。頭部は半圓形に近けれども頭盾の中央は壓下せらる。頭頂に3箇の凸起を具へ、中央のものは大なり。前背板は半球形、淺き點刻を具

ふ。翅鞘には九條の點刻縦溝を具ふ稜狀板は小、滑澤なり。體下は黒色、肢は黒褐色を呈す。

體長：4mm. 體幅：1.5mm.

48. *Aphodius* sp.

前種よりも扁たく暗褐色、光澤著しからず。頭部は黒色、前縁の兩側に暗褐紋あり。頭頂に3箇の突起を具ふるも著しからず。前背板は黒褐色、微細の點刻を具へ、側縁は暗黄褐色を呈す。翅鞘は一樣に暗黄褐色、明瞭なる9條の點刻縦溝を具ふ。體下面、肢共一樣に黒褐色なり。

體長：4.5.; 體幅：1.7mm.

Suborder **Adephaga** 食肉亞目

Family Carabidae おさむし科

49. *Bembidion semilunium* Net.

體黒色、光澤あり、翅鞘は赤褐色、後翅を淡く透視し得。觸角は暗褐色、肢は褐色。翅鞘の縦溝は7條、翅鞘に斑紋を缺く。(戸澤信義氏調査)

本種は *B. adustum* Schau. ツマキミヅギハゴミムシに類すれども翅鞘に黄褐紋を缺く。

體長：5.8mm.

Suborder **Heteromera** 異節亞目

Family Anthicidae いつかくちろ科

50. *Formicomus* sp.

一見蟻の如き小甲蟲、頭部は黒褐色、前胸は赤褐色、後縁に近く縊れを有し、前後の二部に分たる。翅鞘は黒褐色、不明瞭なる細き白色の横紋を各2箇宛具ふ。前方の横紋より前方は褐色なり。

觸角及び肢は赤褐色を呈す。

體長：3mm.

Suborder **Serricornia** 櫛角亞目

Family Buprestidae たまむし科

51. *Chrysodema jucunda* Castelnau et Gory ムネスデアヲタマムシ [pl. I, 7]
 頭部及び前背板は青藍色，前者の中央は多少窪み，黄色の點刻を密布す，觸角は黒色，第1節は綠色の光澤を具ふ，複眼は黒色にして大なり。

前背板は梯形，黄色の點刻を裝ふ，中央は縦に點刻を缺き，側縁の點刻は縦紋狀を成して密集す。翅鞘は金綠色，不明瞭なる縦隆起線間に點刻を散布し，前縁に並行して黄色粉より成る太き縦帶あり。

體下，肢共に金綠色，微細の點刻を密布す。

體長：23mm.，體幅 8mm.

八丈富士に於て飛翔中のものを平山教諭が捕獲したるものなり。本島より未記録の珍種なり。琉球，臺灣，フィリッピン等に分布し，本州より獲られたる記録あれども眞疑確かならず。

Suborder **Clavicornia** 棍角亞目

Family Hydrophilidae がむし科

52. Gen. sp. ?

體小判形，背面隆起するも著しからず。淺き微細の點刻を密布す。前胸及び翅鞘の側縁は細く褐色を呈す。觸角は黒色，兩鬚は黄褐色，肢は黒褐色を呈す。

體長：5mm.，體幅 3mm.

本種は當日獲たる唯一の水棲鞘翅目にして，一生徒の採集せるものなり。

Family Trixagidae きすひもどき科

53. *Byturus* ? sp.

頭部及び前背板黒褐色，翅鞘は暗褐色，體に灰色の微毛を密生す。

體長：2mm.

Family Coccinellidae てんたうむし科

54. *Coccinella bruckii* Mulsant ナナホンテンタウ

頭部は光澤ある黒色，複眼に接して黄白色の小圓紋を具ふ。前背板は黒色にして光澤を有し，極めて淺き點刻を密布す；前縁角は著しく前方に突出し，こ

れに大なる黄白紋を具ふ。

翅鞘は美麗なる橙赤色，會合線の基部は橙黄色，これに7箇の大なる黒色の圓紋を具ふ，本個體に在りては肩部に近く1小黒點を装ふ。

體下面，觸角，肢等一様に黒色，淺き點刻を密布す。

體長：8mm.，體幅 6mm. 北海道より琉球迄分布し，幼蟲 成蟲共にアブラムシを捕食して有益なり。北海道より九州に亘り普通に産す。

Suborder **Phytophaga** 植食亞目

Family **Chrysomelidae** はむし科

55. *Rhaphidopalpa femoralis* Motsch ulsky ウリハムシ

淡黄褐色，光澤に富む。複眼黒褐色 前背板の中央より稍後方に寄りて”V”形の凹陷あり。稜狀板は正三角形に近く暗黄褐色。翅鞘は長く，後方に至るに従ひ幅廣し。

胸，腹兩部の下面，中，後肢等暗色，灰色の微毛を装ふ。

體長：7.5mm. 本州，四國，九州，琉球，臺灣，支那に分布し，瓜類の大害虫なり。八丈島にては僅かに1頭を捕獲したるのみにして個體數少きが如く，従つて被害植物を見ず。

56. *Coenobius piceus* Baly ヒメキアシタマハムシ

光澤ある黒色，頭部は前胸内に隠れ光澤著しからず，上唇及び觸角は黄色なり。前背板の後縁は角張りて翅鞘間に突入し，後縁に並行して凹點列を具ふ。稜狀板は微小なり。翅鞘には約9條の點刻を有する深き縦溝あり。

體下面は黒色，肢は一様に黄褐色を呈す。

體長：2mm. 本州及び九州より知られたり。

57. *Lema adamsi* Baly

淡黄褐色，觸角の第2節以下，複眼等は黒褐色，前背板に4箇の圓き黒紋を装ふ。翅底にある斑紋は翅端のものよりも小なり。翅鞘には十數列の粗き點刻縦列あり。頭部前胸下及び肢は淡黄褐色，各腿節に1箇の黒紋を装ふ。胸部及

び腹部の下面は暗色を呈す。

體長 5.5mm. 本州, 九州, 朝鮮, 支那等に分布す。(松下傳吾氏鑑定)

Family Cerambycidae かみきりむし科

58. *Mesosa longipennis* Bates ナガゴマフカミキリ

體黑色なるも灰色及び灰褐色の微毛を装ふ。翅鞘の略中央を横斷する幅廣き灰色帯あり, その前後に黒紋を散在す。

觸角は褐色, 第1節には黒點を散在し, 第2節以上は基部附近灰白の微毛を装ふ。

體下面及び肢は褐色, 黒褐點を散在す。各脛節の兩端の斑紋, 跗節の末端等は褐色を呈す。

體長: 13mm. 北海道, 本州に産す。

59. *Chlorophorus muscosus* Bates フタオビミドリトラカミキリ [pl. 19]

體暗黄色, 絹様の光澤あり。頭部は黑色, 灰白色の短毛を密生す。前胸は卵形に近く無紋。翅鞘には黑色の3横帯あり, その内肩部と後方より約1/3の附近にあるものは細く, 中央部に存在するものは最も太し。

體下は白色絹様の微毛に覆はれ肢は黒褐色なるも黄褐毛に依つて密に覆はる

體長: 10.5mm. 本種は伊豆下田にてても獲たることあり。伊豆大島, 三宅島, 新島, 本州, 四國, 九州, 琉球, 佐渡, 屋久島等に分布。(松下眞幸, 關公一兩氏鑑定)。

Suborder **Rhynchophora** 吻口亞目

Family Curculionidae さうむし科

60. *Catapionus obscurus* Sharp マルヘウタンザウムシ

全體灰褐色の鱗毛に覆はる。頭部は幅廣く突出し先端はV字形に終る。前背板は長さと同幅と相等しく, 暗色の4縦條を具へ, 中央のものは前後兩端に於て接合す。

翅鞘は卵形に近く著しく膨起し, 各10縦の點刻列を具へ, 暗色紋を散在す。前胸の側縁より翅鞘の肩部に互りて黄白條を装ふ。

肢及び體下面是黒褐色 金灰色の微毛を装ふ。

體長 7.5mm. マルヘウタンザウムシの記載*に照す時は前背板の形狀、體長等に相違あれども形の小なるは地方的の變異(前掲蝶類 シロテンハナムグリの如く)とも考へらるゝを以て上記の如く同定す。本州のみより知らる。

61. *Dermatoxenus nodosus* Motschulsky ヒメシロコブザウムシ

全體に灰黄白色の鱗毛に覆はれ 翅鞘に不規則の凸起を具ふ。口吻は幅廣く突出し、褐色の細點を散布し、頭頂の中央に黒褐色の縦條を裝ひ、複眼は同様の色彩を有す。

前背板には褐色の細點を散布し中央の縦溝は黒褐色 その兩側に接する縦條並に側縁の幅廣き縦條は暗色を呈す。

翅鞘の點刻列は深く、會合線の基部附近、稜狀板等は黒褐色、所々に暗色部を有す。

胸下は暗褐色、腹面中央にも同色の大なる縦紋あり。

體長：14mm. 本州、四國、九州、臺灣、支那、アツサム等に産す。五加科植物に多し。

62. *Deporaus minimus* Kôuo チビイクビチヨツキリ

黒色 灰白色の微毛を密布す。複眼は突出し口吻は比較的長し。稜狀板は白色を呈す。

體長：(口吻共) 4.5mm. 本州に分布す。

63. *Rhynonchus percarpius* Linnaeus アサザウムシ

體黒褐色、圓形。口吻は黒色、幅廣く短かし。前背板の中央には不明瞭なる縦溝を具へ、その兩側に密布する點刻と共に灰白色の鱗毛を装ふ。翅鞘は深き縦溝を具へ、灰白色の鱗毛を散在す。

體面は黒褐色、觸角及び肢は赤褐色を呈す。

* 湯淺啓温 . 日本昆蟲圖鑑 p. 545, fig. 1033 (1932)

體長：2.5mm. 北海道、本州、歐洲。麻の害蟲として知らる。

Order **HYMENOPTERA** 膜翅目

Suborder **Petiolata** 腰細亞目

Group **PARASITICA** 寄生類

Family Chalcididae あしぶとこばち科

64. *Brachymeria fonscolombei* Dufour アカアシブトコバチ

體黑色、粗大の點刻を密布す。顔面は縦に凹陷し、その部分は滑澤、觸角は黒褐色にして凹陷部の終點より發す。腹部は光澤ある黑色、腿節の先端、脛節の先端、跗節等は黄色、後腿節は赤褐色を呈す。

小盾板の後端は二突起に終り、翅は透明、翅脈は褐色なり。

體長：4mm. シマバへの蛹に寄生する種にして本州、四國、九州、歐洲等に分布す。

Family Encyrtidae とびこばち科

65. *Anagyrus* sp.

本種はタケノフクロカヒガラヤドリバチ *A. antoninae* Timberlake に近似なれども頭部は黄褐色（前掲の種にては黑色）なるを以て別種と爲したり。單眼及び複眼は黑色、他の部分は殆ど該種の記載に一致す。

他に近似の科に屬する未調査のもの2種 Nos. 60, 61 あり。

Family Ichneumonidae ひめばち科

69. *Metopius* sp.

頭部黑色、觸角間の三角紋、複眼の内側に接する縦紋、觸角第1節の内面の1紋等は黄色、觸角は褐色、複眼及び單眼は黑色を呈す。胸部は黑色、銀色の微毛を裝ふ。

腹部は淡黒褐色、光澤あり、第1節の中央は凹陷す。第1、第2、第3、第4、第5各節の後縁は幅廣く黄色を呈す。翅は透明、翅端に暗色部あり。肢は暗褐。

本種は *M. hakiensis* Matsumura に酷似すれども肢に黄紋を有せず、腹部の黒色部は藍色光澤を放たざるを以て別種なること明かなり。

體長：17 mm., 開張：27 mm.

67. *Zacarops* sp.

小形の寄生蜂にして腹部は縦扁，頭，胸兩部は黒色，腹部は橙褐色を呈す。複眼は黒色，單眼黒褐色にして大，複眼の後方に赤褐色の大紋を装ふ。顔面は黄白色にして白色の微毛を密生す。觸角は淡褐色，鞭節の基部上面は暗色を呈す。腹部は一様に同色にして，産卵管も同様の色彩，短かし。

翅は透明，鏡胞を缺き，脈は暗褐色。前，中兩肢は黄色，後肢は橙褐色を呈す。

體長：10mm.

本種はホウネンタハラバチ *Zacarops narangae* Cushman 近似の種なれども色彩に異なる處あり。

Family Evaniidae やせばち科

68. *Gasteruption japonicum* Cameron コンボウヤセバチ

體黒色，細長。頭部は黒色，微細なる點刻を密布し，顔面は銀色の微毛に覆はる。觸角は黒色，體長の 1/3 に等し。

前胸は細き圓錐形を呈し，頸狀に頭部と連る。胸部は黒色，微細なる點刻を装ふ，翅は透明，翅脈は黒褐色。

腹部は甚だ長く側面に黄褐紋を装ふ。産卵管は黒褐色，體長と殆ど等長にして末端は白色，肢は黒色なるも各腿節の基部の斑紋並に跗節は白色なり。

體長：16mm. 北海道，本州に産し，八丈島にては相當に多く，卓上，縁側等に飛來するものを屢々見たり。

Group TUBULIFERA 有管類

Family Chrysididae せいぼう科

69. *Chrysis lusca* Fabricius ドリイツツバセイボウ [pl. I, 1]

頭部は粗き點刻を密布し，複眼間に 2 縦隆起線ありて後方は單眼に達す。頭

頂、顔面、觸角の柄節 (Scape)、梗節 (Pedicel) 及び第1鞭節 (1st flagellum) は金緑色、單眼區は藍色、觸角、單眼、複眼等は黑色を呈す。

胸部は大部分青綠色にして中胸背の中央區は紫藍色、瓦狀片 (Tegula) は藍色にして、一様に粗き點刻を密布し、青藍色の色彩を反射す。

腹部には粗大の點刻と黄色の微毛とを密布し、第2節迄は金緑色、金色の反射色を有し、第2節の前縁並にその下方の腹節は紫藍色を呈す。但し第3節の後縁附近は金緑色を帶ぶ。尾端の齒は5箇なり。

翅は透明なれども暗色を帶ぶ。體下面及び肢は一様に金緑色、尾端附近は藍色を帶ぶ。

體長：11mm.、開張：15mm.。電柱に飛來せる1頭を獲たり。本州、四國、九州、琉球、臺灣、ジャヴァ、インド、ビルマ等に分布す。

Group ACULEATA 有劍類

Family Formicidae あり科

70. *Pristomyrmex japonicus* Forel アミメアリ

體暗褐色。頭部、胸部及び腹柄節には網目狀の隆起線を有す。腹部は滑澤にして球狀を呈す。後胸には後方に向ふ鋭き棘を裝ふ。

體長：2.5mm.。本種は東京産のものに比して小型なれども同種と認めたり。北海道、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那に分布す。猶本科に屬する不明種他に5種あり。Nos. 71, 72, 73, 74, 75.

Family Scoliidae つちばち科

76. *Elis* sp.

♂ ハラナガツチバチ *E. grossa* Fabricius に似たれども比較するに一致せざる點あり。即ち前胸背兩側 (肩部) の黄紋を缺き、その代りに中央に同色の小紋を具ふ。第1腹節は幅狭く第2節との間は深く縊る。第1乃至第5節の後縁は幅廣く黄白色、第2節の黄白帯は兩側に各1箇の小黒點を具ふ。複眼に沿ふ八字形紋及び前脛節の外側は黄色なり。

體長：18mm.，開張：30mm.

Family Pompilidae べつかふばち科

77. *Psammochaeres* sp.

小形のべつかふバチにして頭部は胸部よりも幅廣く、全體に黑色、前伸腹節の後縁に銀白色の微毛を密布す。第3腹節の前縁は幅廣く銀白色の微毛を裝ひ斑紋狀を呈す。翅は透明、翅脈は黑色、外縁は幅廣く、暗色を呈す。

Family Crabronidae ぎんぐちばち科

78. *Crabro vagus* Linnaeus ギングチバチ

體黑色 頭部及び胸部には點刻を密布し、光澤を缺く。腹部には淺き點刻を有すれども光澤強し。觸角の柄節 前胸背後縁の中央部切斷せる横帶、後胸背板に横列する2小紋、第2腹節兩側の橢圓紋、第4、第5兩節の細き横帶、腿節及び脛節上の斑紋は黄色を呈す。

翅は暗色を帯びたる透明、翅脈は黑色なり。

體長：8mm.，開張：14mm. 本州、四國、九州、シベリア、歐洲に分布す。

Family Sphegidae こしほそばち科

79. *Sceliphron inflexum* Sickmann ルリジガバチ

全體に光澤ある青藍色、頭部及び胸部には白色の長毛を粗生す。觸角の鞭節は黑色、他は體色と同様。前伸腹節は甚だ長大にして胸部の全長の半ば以上を占む。翅は暗色を帯び半透明なり。

體長：17mm.，開張：24mm. 八丈島には普通なり。本州、四國、九州、臺灣、支那、亞細亞南部に互り分布す。

Family Trypoxylonidae じがばちもどき科

80. *Trypoxylon obsonator* Smith ジガバチモドキ

體細く頭部大、黑色。顔面に銀色の微毛を密生し美麗なる光輝を放つ。胸部には灰色の軟毛を裝ふ。腹部の基部は甚だ細く、第2、3兩節は赤褐色を呈す。翅は短かく暗色を帯び、翅脈は黒褐色、肢は黑色なり。

體長：11.5mm. 本州，四國，九州，琉球に産す。竹管或は細孔等に營巢す。

Family Eumenidae どろばち科

81. *Rhynchium japonicum* Dalla Torre オホフタオビドロバチ

(♂) 黑色，光澤著しからず。觸角柄節の前面 觸角間の1紋，頭盾，複眼の後側にある線紋等黄色，頭頂は點刻を密布し，單眼の後方に於けるものは粗大なり。複眼は黑色，觸角は褐色の微毛に覆はる。

胸部は粗き點刻を密布し，前胸背上の中央切斷せる大紋，中胸小盾板上の方形紋（中央黑色細線にて縦斷せらる）それに續く後胸背上の1紋，瓦狀板上の小點及びその後方にある小點等は黄色，

腹部は細點刻を粗に裝ひ，第1，第2兩節の後縁は黄色を呈す。

翅は外方に至るに従ひ濃き暗色を帯び，紫色の光澤を現はす。翅脈は黒褐色なり。

體下は一様に黑色，中胸側板の1紋，各腿節及び脛節上の斑紋は黄色なり。

體長：14mm.，開張：25mm. 本州，四國，九州に分布す。

Family Megachilidae はきりばち科

82. *Megachile susakiella* Cockerell ヒメハキリバチ

體黑色，點刻を密布す。頭部は胸部よりも幅廣く，複眼の内側に灰白色の長毛を密生す。胸部の側方にも同色の毛多く，腹下面のものは黄色を帯び一層長し。

腹部は圓柱狀を呈し各節の後縁は黄灰色毛を以て縁取らる。翅は透明，少しく暗色を帯び，翅脈は黒褐色なり。

肢は黑色にして灰黄色の微毛を裝ひ，跗節の内面には褐色の軟毛を生ず。

體長：10mm.，開張：8mm. 本州に産す。

83. *Megachile* sp.

前種に似たれども遙かに小形にして黑色光澤強く，腹部圓し。胸部の側面，小盾板後方，各腹節後縁の毛等は灰白色なり。

體長 : 5—6.5mm.

Family Andrenidae ひめはなばち科

84. *Sphecodes simillimus* Smith アカヒメハナバチ

頭部及び胸部は黒色、粗き點刻を装ふ。腹部は第1, 2兩節並に第3節の前縁は光澤ある赤褐色、その後方は黒色にして黒色の粗毛を装ふ。翅は暗色を帯び透明、翅脈は黒褐色なり。肢は黒褐色を呈す。

體長 : 10mm., 開張 : 18mm. 北海道, 本州, 四國, 九州に分布す。

85. *Halictus occidentis* Smith シロスヂヒメハナバチ

頭部及び胸部は黒褐色、黄褐毛を装ふ。胸部側面及び後胸背の毛は長し。腹部は光澤ある黒色、第2, 第3, 第4各節の前縁には幅廣き黄褐色の微毛帯あり。腹端にも黄褐毛を装ふ。

翅は透明、僅かに暗色を帯ぶ、翅脈は黒褐色を呈す。肢は黒色なれども黄褐毛多し。

體長 : 11mm., 開張 : 15mm. 北海道, 本州等に分布し花間に普通なり。

86. Gen. ? sp. ?

體黒色 一見トツクリバチ科に類する色彩を有す。複眼の内側にある細長き三角紋、前胸背、瓦狀板の前半、脛節基半部等は黄色。

石原保氏は本標本を検して、嚴島附近に於いてヲサヨコバヒ類を狩る蜂と同一種なりと云はれたり。八丈島にもヲサヨコバヒを産するを以て同種なるべし。但し名稱は不明にして所屬する科も明かならず。

Order DIPTERA 雙翅目

Suborder Cyclorrhapha 環縫亞目

Series ATHERICERA 苞角群

87. *Musca domestica* Linnaeus イヘバイ

採集を略す。世界共有の種なり。

88. *Musca corvina* Fabricius クロイヘバヘ [pl. I, 8]

(♂) 黒色，複眼黒褐色 顔面銀色 觸角黒色。胸背には5條の灰褐縦帯あり，剛毛は黒色。鱗状瓣は黄白色，腹部は黄褐色，黒色の縦紋を中央に走らせ，第3節の後縁は黒色を呈す。全面に黒色の剛毛を装ふ。

翅は透明，翅脈は黒褐色。光線の具合に依りて紅及び青色の光澤を反射す。體下及び肢は黒色，腹面は黄褐色を呈す。

(♀) 胸背に於ける灰白縦帯は明瞭 腹部は暗黒色にして灰色の斑紋を装ふ。體長：9mm.，開張：18mm. 世界共有と稱せらる。

89. *Lucilia caesar* Linnaeus キンバヘ

複眼褐色。體金綠色。翅は暗色を帯ぶ。汚物に集まる普通種なり。

體長：6—7mm. 全世界に分布す。

Family Anthomyiidae はなばへ科

90. *Stomorrhina obsoleta* Wiedemann ツマグロハナバヘ

體黒色，銅色の光澤あり。複眼は褐色 顔面及び胸部に黒色の剛毛を装ふ。腹部は黒色にして第2, 3兩節の兩側に大なる黄褐横紋あり。翅は多少暗色を帯び透明，翅端前縁に暗色紋あり。

體長：4.5mm. 北海道，本州，四國，九州，琉球，臺灣，支那 印度，歐洲等に分布し花に集る。

91. *Stomorrhina* sp.

前種よりも細形にして胸背は青銅色の光澤を帯び，腹部の黄褐紋は不明瞭なり。

體長：4.5mm.

猶本科に屬するもの他に1種不明のものあり (No. 86)。

Family Trypetidae みばへ科

92. Gen. ? sp. ?

種名未詳。體黒褐色。灰黄色の微毛並に黒色の剛毛を装ふ。頭頂，胸側，小

盾板、肢等は淡黄褐色。翅は暗色にして翅底より中央部を少しく過る太き白色の縦紋と、その外方に同様の横帯とを有し 他の部分には淡黄褐點を散布す。

體長：4.5mm.

Family Drosophilidae しやうじやうばへ科

本科に屬するもの1種あれども種名を決定するに至らず。No. 93. *Drosophila* sp. 微小黄褐色種。

體長：1.2mm.

.....
近似のものにして科、屬等不明のもの3種あり。Nos. 94, 95, 96.

Family Syrphidae ひらたあぶ科

97. *Megaspis zonata* Fabricius オホハナアブ

黒褐色、複眼は黒色、顔面灰褐色にして白色の短毛を装ふ。胸側には黄褐毛多し。腹部第1節には幅廣き黄褐帯を具へ その後方は黒褐色 黄褐毛を装ふ。翅は透明 翅底及び前縁中央部に黒褐紋あり。

體下及び肢は黒色、跗節は褐毛を装ふ。

體長：13mm. 日本全國、支那、馬來、印度、ジャヴァ、スマトラ等に分布す。

Suborder **Orthorrhapha** 直縫亞目

Series **BRACHYCERA** 短角群

Family Dolichopodidae あしながばへ科

98. *Psilopus nebulosus* Matsumura マグラアシナガキンバへ

體は美しき金綠色。複眼は褐色、口吻、肢等は淡黄褐色を呈す。翅は透明にして翅端に近く雲狀の暗色紋を具ふ。

體長：5.5mm. 本州、四國、九州等に産す。夏日葉上に見らる。

Family Asilidae むしひきあぶ科

99. *Leptogaster basilaris* Coquillett ホソムシヒキ

體細長。頭部は胸部よりも幅廣く著しく短かし。胸部には前縁の兩側に不明

瞭なる暗褐色の縦紋を装ふ。腹部は細長く暗褐色，腹端には蜻蛉目の上附器に似たる突起を具ふ。翅は透明，翅脈は黒色を呈す。

體下は暗黄褐色，肢，平均棍等は淡褐色，後肢は著しく長く腿節の2横帯，脛節等は暗色なり。

體長：17mm.，開張：19mm. 本州に分布す。

100. *Eutolmus brevistylus* Coquillett チャイロムシヒキ

暗褐色，黄灰粉を装ふ。複眼は黒褐色，單眼區，觸角等は黒色，顔面は灰黄粉にて覆はれ，上半部には黒色，下半部には黄褐色の剛毛を装ふ。

胸背の中央には大なる楔形の黒褐縦紋あり，その兩側灰褐色。腹部は黒褐色なれども灰褐粉に覆はれ，尾節は黒色にして光澤あり。

翅は暗色を帯び半透明，翅脈は黒褐色。體下は汚黒褐色，肢は黒色なり。

體長：17mm.，開張：25mm. 北海道及び本州に産す。

101. *Ommatius chinensis* Fabricius アヲメアブ

大形の種にして體は黒褐色，顔面には黄褐毛を叢生す。複眼は美しき青綠色を呈す。胸背には黄褐色の3縦條を具へ，側縁も同色を呈す。腹部には黄褐毛多し。

翅は淡黄褐色外縁は幅廣く暗色，翅脈は褐色なり。肢は黒色，脛節は赤褐色を呈す。

體長：24mm.，開張：43mm. 本州，四國，九州，琉球，臺灣，支那，印度に分布す。

Family Tabanidae あぶ科

102. *Tabanus mandarinus* Schiner シロフアブ

(♂) 黒褐色，複眼は褐色，觸角は黒褐色。胸部には灰褐色の毛を具へ，腹部には黄褐毛より成る縦列毛斑あり，第二節の前縁兩側には暗赤褐色の到三角紋を装ふ。

翅は暗色，半透明，翅脈は黄褐色を呈す。肢は暗褐色，脛節は末端を除き暗

黄色。

體長：17mm.，開張：19mm. 北海道，本州，四國，九州に分布す。

Series NEMATOCERA 長角群

Family Tipulidae ががんぼ科

103. *Nesopera geniculata* Alexander アヤヘリガガンボ

淡褐色，腹背に環狀の暗色紋を連ぬ。翅は淡き暗色，前縁に暗褐色紋を具ふ。その中央及び翅底のものは到三角形に近く，翅端は暗色にして3箇の透明部あり。

肢は纖細，腿節端は暗色を呈す。

體長 9mm.，開張：18mm. 北海道，本州，九州の山地より知られたり。八丈島にては水源池附近に於いて獲たるものなり。

104. *Conosia irrorata* Wiedemann セダカガガンボ

淡黄褐色，胸背に濃色の1縦條あり。翅は淡黄褐色にして翅脈上に暗色點を裝ふ。前縁の斑紋は濃色にして大，その後方に大なる暗色の4紋を具ふ，又臀室の末端にも同色の1紋あり。

體長 13mm. 北海道，本州，四國，九州，朝鮮，臺灣，支那，印度，ジャバ，濠洲等分布區域廣し。

Class ARACHNOIDEA 蛛形綱

今回の採集に於いて，本綱に屬する動物は特に注意して採集に努めたりしも，意外に僅少の標品を得たるに過ぎず。而も本土に於いては既に成熟したる種も本島に於いては未成熟状態のものゝ多きことは，蝶の春形に近き形態なることゝ併せ考へて，何等か特殊の事情の存在することゝ思考せらるゝなり。他の動物或は住民等の状態を併せ研究すれば，何等か興味ある結果を得べきことを確信するものなり。元來温暖なる地方は特に生物の發育は速かなるが常なれども，本島の如きは異例とも考へらるゝなり。

蜘蛛類標本は總て植村利夫氏の鑑定を得たるものなり。記載を略して種名のみ掲ぐ。

Order **ARANEIDA** 蜘蛛目

Suborder **Metathelae** 新疣亞目

Superfamily **ARGIOPOIDEA** こがねぐも主科

Family **Linyphiidae** さらぐも科

1. *Linyphia montana* Clerck ヤマデサラグモ

〔分布〕 本州 四國, 九州。

Family **Argiopidae** こがねぐも科

2. *Leucauge blanda* L. Koch シロガネグモ

〔分布〕 本州, 四國, 九州 (太平洋沿岸地帯)。

3. *Argiope bruennichi* Scopoli ナガコガネグモ

〔分布〕 本州, 四國, 九州。

Family **Lycosidae** どくぐも科

4. *Lycosa T-insignata* Boesenberg et Strand ウヅキドクグモ

〔分布〕 樺太, 北海道, 本州, 四國, 九州。

Superfamily **CLUBIONOIDEA** かにぐも主科

Family **Thomisidae** かにぐも科

5. *Thomisus bimaculatus* Boesenberg et Strand キリシマアヅチグモ

〔分布〕 本州, 四國, 九州。

6. *Misumena tricuspidata* Fabricius ハナグモ

〔分布〕 日本全國, 獨逸, ハンガリー, フランス, ロシア。

Family **Salticidae** はへとりぐも科

7. *Rhene atrata* Karsch カラスハヘトリ

〔分布〕 本州, 四國, 九州。

8. *Marpissa vittata* Karsch アヲラビハヘトリ

〔分布〕 本州, 四國, 九州。

Family Heteropodidae あしたかぐも科

9. *Heteropoda venatoria* Linnaeus アシタカグモ

〔分布〕 本州, 四國, 九州, 琉球, 臺灣, 支那 (東洋區地方)。

Order OPILIONES めくらぐも目

本目に屬するメクラグモ1種を獲たれども種名明かならず。

Class MYLIAPODA 多足綱

Order DIPLOPODA 倍足目

Family Strongylosomatidae あかやすで科

1. *Orthomorph gracilis* D. L. Koch ヤケヤスデ

〔分布〕 日本全國, 歐洲, アジア, アメリカ, (高島春雄氏鑑定)。各地に最も普通のヤスデにして樹皮下に獲たり。

Class CRUSTACEA 甲殻綱

Subclass MALACOSTRACA 軟甲類

Order ARTHROSTRACA 節甲目

Suborder Isopoda 等脚亞目

陸産甲殻類は僅かにワラヂムシ *Porcelio laevis* Latreille を樹皮下に獲たるに過ぎず。

.....
以上記録せるもの以外に爬蟲綱とかげ科に屬するヲカダトカゲ *Eumeces latiscutatus okadae* Stejneger [分布: 新島, 三宅島, 八丈島に限りて産す] (最も普通に見らるゝ大形のトカゲにして, 八丈富士には殊に多し), 陸産軟體動物, 腹足綱 Class Gastro poda に屬するカタツムリ, キセルガヒの類を10種近く採集したれども 目下高島春雄氏を通じて査定中なるを以て, 他日追補することあるべし。菌類, 植物等の採集品はこれを省略す。